

事業番号	04 08 02	事業改善シート（27年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産学官連携プラットフォーム構築支援事業			担当課	部局	県民文化部	
					課・室	私学・高等教育課	
総合5か年計画	プロジェクト	8-5-1 教育再生プロジェクト(高等教育全体の振興)		E-mail	shigaku-koto@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざした世界に通じる人材の育成			実施期間	H27 ~	

1 事業の概要

目指す姿	産学官が協働で実施する人財育成のためのアクションを実施するためのプラットフォームを構築し、大学と企業、地域との連携による問題解決を図るなどの取組を通じて、長野県の将来を支える人財の育成を図る。		
現状(予算編成時)	<input type="checkbox"/> 持続可能な地域づくりのためには、「しあわせ信州」を未来に向けてけん引する人財の育成が重要。 <input type="checkbox"/> 長野県産学官協働人財育成円卓会議において、人財育成のためのアクションプランが議論されているが、その実施にあたってはプラットフォームの構築が不可欠。 <input type="checkbox"/> 産学の効果的な連携を図るためには、県においても一定の支援策を講じるべき。		

県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：今後実施予定	「しあわせ信州創造プラン」の政策推進の基本方針として、『人』と『知』の基盤づくりを掲げており、「未来を切り拓く知恵と行動力を持った人材が育つ知の拠点づくり」が必要とされている。

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)						
	<input type="checkbox"/> 産学官が協働・連携した、次代の地域を支える人財育成方策を実施する。 > 大学生の学びの動機付けを図るため、企業の若手社員をメンター(助言者、相談相手)として大学に派遣(月2人、年間計24人以上) > 地域・企業の課題を集約して大学に提供し、演習等において学生が主体となって課題の解決方法を研究し、成果をフィードバック(月1件、年間12件以上)						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H27事業実績		H27		H28
				(当初)	(決算)	(当初)	
	産学官連携プラットフォーム構築支援事業	直接	<input type="checkbox"/> 産学官が協働で行う人財育成のため、円卓会議で議論し決定した事業を実施する「信州産学官ひとりづくりコンソーシアム」を構築(H27年7月) ・地域・企業課題と、その解決策を研究する大学のマッチング ・専門部会を開催し、海外インターンシップ支援の検討	2,556	2,471	0	
	合計			2,556	2,471	0	

事業コスト	区分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越			0	0
	当初予算			2,556	0
	補正予算			0	0
	合計(A)	0	0	2,556	0
	Aの財源				
	一般財源			2,546	0
	県債			0	0
	国庫支出金			0	0
	その他	0	0	10	0
決算額(B)			2,471		
概算人件費					
職員数(人)			3.00	0.00	
概算人件費(C)	0	0	24,828	0	
概算事業費(B+A+C)	0	0	27,299	0	

成果目標の達成状況					
項目	H26末(実績)	H27			H28目標
		目標	成果	達成状況	
メンター派遣人数	-	24	0	未達成	-
課題マッチング件数	-	12	1	未達成	-

目標に対する成果の状況	メンター派遣については、専門部会の議論の中で課題が提起されたため実施しないこととした。 地域の課題マッチングについては、地域において課題を把握するシステムが出来ておらず、課題の掘り起こしが困難であった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 平成28年度からは、産学官連携プラットフォーム構築支援事業の業務を含めた、各大学の特性に合わせた支援を行う高等教育支援センターを設置し、その中で学生インターンシップ、海外インターンシップの支援を行っていく。また、大学から課題のテーマを提案していただき、課題解決のため地域をマッチングしていく。
--------------------	---